

経営比較分析表（令和5年度決算）

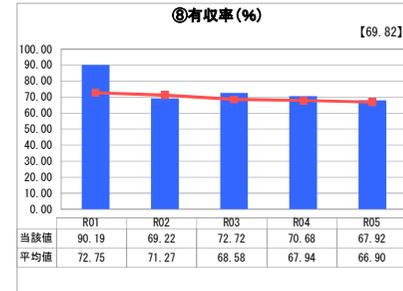
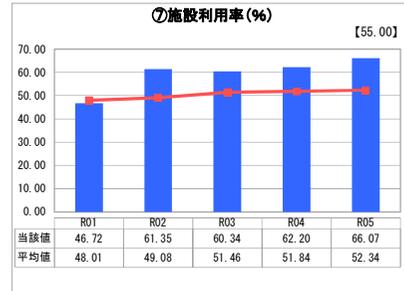
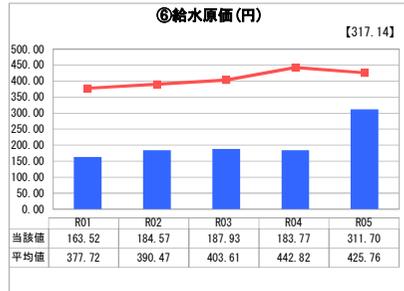
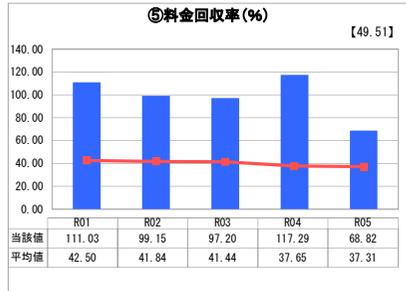
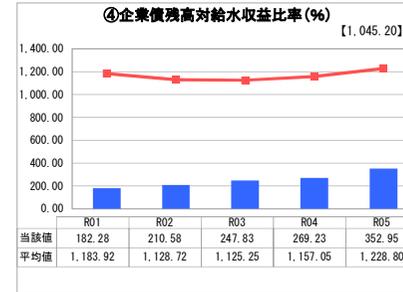
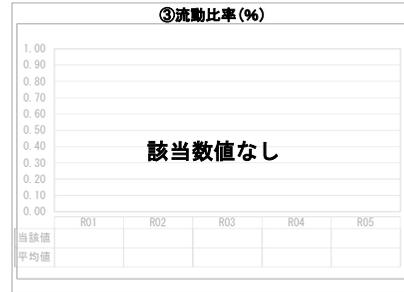
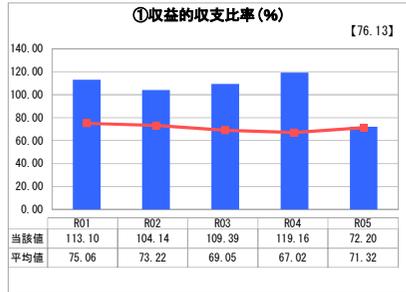
北海道 厚岸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	6.59	5,860	

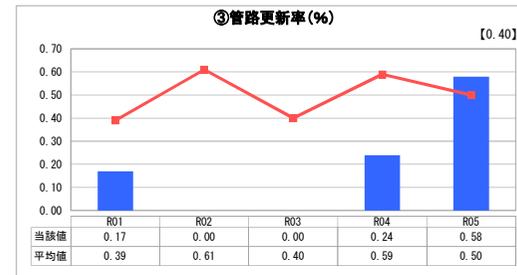
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,395	739.12	11.36
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
545	85.45	6.38

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の簡易水道は、上水道区域と同一の料金体系としており、令和4年度の改定により収入が増加し、100%を超える料金回収率となった。
 長年、起債の借入を行っていなかったが、平成25年度から配水管更新を進め、その財源として企業債の借入れをしており、今後は配水管更新による企業債残高が増加することが見込まれる。
 基幹施設の整備については、補助制度を活用しながら進めている。

2. 老朽化の状況について

総延長約96kmの内、布設後40年以上の管路は約5割近くある。
 今後、必要な投資を見据え、厚岸町簡易水道事業経営戦略の施設整備計画に基づき、計画的な更新と耐震化を進める必要がある。

全体総括

簡易水道の給水区域は広く、酪農業が多いため家屋が点在し、非効率的な事業ではあるが、産業の維持に欠かせないだけでなく、ライフラインであるため、存続していかなければならない。策定した経営戦略に基づき、長期的な投資計画も加味した上で、有利な条件や制度の活用と今後の収益を検証した事業運営に努める。